

第3回定例会  
9月議会

## 令和5年度一般会計補正予算(第4号)を全会一致で可決

### 山陽電鉄藤江駅 バリアフリー化へ

#### 令和8年度末の完成を目指し設計に着手

令和5年第3回定例会9月議会が9月5日から10月11日まで開かれました。物価高騰対策補助事業費を含む令和5年度明石市一般会計補正予算(第4号)など、議案14件、諮問1件を可決。同意、報告7件を了承、請願2件を採択しました。また、令和4年度決算14件を認定しました。



安全・安心な水を市民に供給(魚住浄水場・配水塔)

9月25日の本会議では、

物価高騰対策支援事業費や山陽電鉄藤江駅バリアフリー事業補助金を含む令和5年度一般会計補正予算(第4号)を全会一致で可決しました。

市内における駅舎のバリアフリー化は、鉄道事業者だけでなく、国、県、市が連携し支援しながら進められています。山陽電鉄の市内駅舎は12駅あり、7駅でバリアフリー化整備が完了しています。



南改札やバリアフリースイートを新設予定

山陽電鉄の駅舎の整備については、事業者が利用者から料金を徴収し、徴収分を整備に充当する国の鉄道駅バリアフリー料金を活用することになっていますが、藤江駅は乗降者数が多く、市としても移動等円滑化促進地区に位置付けていることから、より早期のバリアフリー化を目指して、

県と市が協調し6分の1を限度に補助する県の制度を活用して整備が進められます。整備案では、今年度から南改札やバリアフリースイート新設などの設計を行い、8年度末を完成予定としています。審査を行った建設企業

常任委員会では、委員から、藤江駅の整備がようやく進むが、市内の残る未整備4駅の整備計画はあるのかとの質問がありました。市からは、残る未整備4駅は、国の制度を活用して17年度までに整備完了予定と聞いています。今後も国や県、山陽電鉄とも連携し、早期のバリアフリー化に取り組みんでいくとの答弁がありました。

## 令和8年の開業目指す複合施設 (仮称)西明石地域交流センター 特色を生かした蔵書を

総務常任委員会では、(仮称)西明石地域交流センター建設設計に係る公募型プロポーザルの結果および西明石地区活性化に向けた取り組みについて報告がありました。本施設は、今年8月に整備計画に基づく基本設計および実施設計について公募型プロポーザル方

式により設計業者を選定しました。同業者からは、ワンフロア当たりの面積の拡大により整備計画の5階建てから4階建てへの低層化、図書館機能をワンフロアにまとめ、誰もが使いやすい管理しやすい図書空間の創出、環境への配慮やバリアフリー・ユニバーサルデザインへの導入、工事費の抑制と工期の短縮、誰もが訪れやすくにぎわいや交流が創出できる利用しやすい複合施設とする提案がありました。

今後、協議を重ねながら設計内容を決定し、令和8年にJR西明石駅の新改札や駅ビル等と同時に開業を目指します。委員からは、基本設計がまとまった後、市民意見

見を聴取する機会は設けられるのか。どのような蔵書を考えているのかとの質問がありました。市からは、基本設計がまとまれば市民参画手続きを行う。蔵書については、現在の市立図書館の状況も踏まえ、どのような特色を生かした図書資料をそろえるのか庁内で相談の上、整備を進めていくとの答弁がありました。



受託者から提案の設計概要パース

|   |   |                         |   |                                   |   |                             |
|---|---|-------------------------|---|-----------------------------------|---|-----------------------------|
| も | 2 | 市政を問う 27人が登壇<br>質疑・一般質問 | 5 | 今年度の重点的な取り組みは<br>委員長に聞く           | 8 | 各議員の議案等に対する賛否を掲載<br>議案の賛否一覧 |
| く | 3 | 請願・意見書                  | 6 | 昨年度の予算執行をチェック<br>令和4年度決算を認定       | 8 | 夏休み親子で議会体験ツアーを開催            |
| じ | 3 | 議員よもやま話                 | 7 | 市議会としての意見や要望<br>決算の認定にあたり出された附帯意見 |   |                             |

マチイロ  
市議会だよりを  
スマホで読める

※利用にはアプリのダウンロードが必要です。